

「何の秋？」

ちーたん / 作



ちーたん日記



10月28日(金)「秋の夜」

すっかり涼しくなってきた秋の夜、手がとぎやうなぐらう大きなお月様を見たよー！
 みんなは、月には何があるんだろ？月に行くとみたくなあつて思ったことばないっ！
 昔から「ウサギがお餅つきをしている」「お月見」に見えるって言われているのは、「ウサギがお餅をついて、お米がたぐさんこれたこと感謝しているから」って言い伝えもあるんだって！
 お月様を見ながら耳をすましているって「リン・リン」って、スズムシが鳴く声も聞けたよー！
 されいに聞くスズムシには、まわりの声や音がどんなふうに聞かえているのかなあ？

ちーたんからのクイズだよー！
 「スズムシの耳ってどこにあるのさ？」

ア 前足にある
 イ お腹にある
 ウ 耳はない

答えは、ア・イ・ウのどれか？
 正解はちーたんの4コマまんが「何の秋？」にありよー！



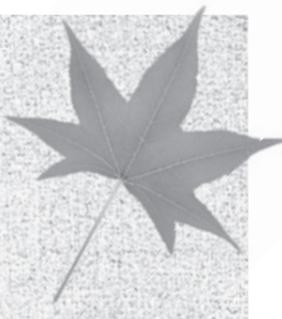
来月号の「ちーたん日記」もお楽しみに！

第9回丹波市民踊のつどい

市内の各民踊保存協会のみなさんが、日ごろ研鑽してきた演目を発表します。

- とき / 11月23日(土・祝) 開会: 午前9時30分～
- ところ / 丹波の森公苑ホール※入場無料

〒丹波市郷土民踊保存協会事務局 (生涯学習センター芸術文化係) ☎74-1050



ちいきのげんきを 発信中!



ディスカバー! 丹波のきらめき企業 Vol.32

【会社概要】(株)夢農ファーム
 ■所在地 丹波市青垣町田井縄 305-1
 ■電話番号 078-393-1831
 ■ホームページ http://www.yumeno-farm.com
 ■主な事業内容 食料品卸・小売業
 ■従業員数 11人(うち本店4人)

夢農ファーム (株)夢農ファーム

丹波市産の農産物を中心に、食料品を全国の消費者に届ける(株)夢農ファーム。今回は、平成25年4月から青垣町田井縄で営業を開始した、同社の本店を訪問しました。



新鮮野菜と一緒に、生産者や栽培過程など、野菜に関する情報がつまったチラシが消費者のもとへ届けられます

★販売のみにとどまらない取り組み
 同社は、単に契約農家などから仕入れた農産物を販売するだけではありません。自分たちが生産者の思いを伝達する重要な役割を担う立場にあると考え、「つくり手の顔が見える」販売手法をとっています。生産場所や栽培過程などを掲載した資料を農産物と一緒に配布するこの手法からは、商品

★魅力ある丹波市への移転を決意
 (株)夢農ファームは、平成5年に南あわじ市で設立。当初は、淡路島産の農産物を中心に販売を行っていましたが、その一方で、丹波市で生産される有機農産物にも注目し、スタッフがたびたび丹波市に足を運んでいました。そして、農家の人たちと話を重ねていくなかで、全国的に知名度の高い丹波ブランドや生産者の意識の高さに惹かれ、「丹波とともに会社も成長していきたい」との思いで本店移転を決めました。



わが社のきらめく「丹波人」
 本社の移転にともない、市内に移住された神崎恵子さん。「自分自身も農産物の生産者として丹波の農業に貢献していきたい」との思いで、まずは家庭農園をはじめられたそうです

『取材を終えて』
 国産農産物の生産量が減少するなか、外国産の農産物が私たちの食卓に並ぶ機会も増えています。日本の農業にとって、厳しい環境が続いている今、同社のような理念をもった会社が市内で活躍し、今後、農業の発展の一翼を担う存在になることを期待します！

★新天地での今後の目標
 現在、農産物の販売を中心に行う同社。今後は、地元を生産者と力を合わせ、新たに丹波市産の農産物を使って、食品加工も行いたいという意欲を見せています。また、会社をもっと地元の人たちにも知ってもらい、自分たちの農業に対する思いに共感してくれる人たちと一緒に働き、ともに成長したいと考えています。

丹波の恵み

第5回 活用資源 / 丹波産の鹿角

市では、丹波市の地域資源等を活用した新商品や新サービスの開発を支援するために、「地域資源活用促進等事業費補助金制度」を設けています。平成24年度にこの制度を活用して、新たに開発された新商品や新サービスをシリーズ(全7回)で紹介します。

鹿角の新たな利用法
 鹿角健康ドリンク

自然の恵みをできる限り利用する「自然循環型」の商品づくりを企業理念としている「EGサイクル」では、古来より薬膳として用いられている鹿角を活用し、「鹿角健康ドリンク」を開発しました。このドリンクは、鹿角を粉末状に加工し、ショウガ酵素に漬け込んで抽出した鹿角エキスを加えた健康ドリンクです。これまでで左右不揃いの鹿角は、ほとんど商品価値がなく廃棄されていましたが、この利用法によって新たな商品価値を付加することに成功しました。より多くの人々が、丹波鹿の魅力にふれる機会を増やすことで、消費の拡大と、地域の活性化をめざしています。



独自の改良を施した粉碎機で粉末状に加工します



鹿角を粉末状にし、抽出したエキスをドリンクにしています

【事業者概要】

株式会社 EG サイクル
 《所在地》 山南町南中 113-6
 ☎ 77-1870
 《HP》 http://www.eg-cycle.com